

## 小樽の歴史と自然を生かした地域景観づくり

北海道小樽市

- 屋外広告物などに関する実態調査
- 旧国鉄手宮線沿線の景観形成に関する社会実験
- 屋外広告物のデザインコードの作成

概要	<p>○景観計画に基づく景観条例を平成21年4月1日より施行している。しかし屋外広告物については北海道の屋外広告物条例に基づき運用しているが、この条例は許可地域、広告物の高さや表示面積などの許可が主な内容となっており、景観に大きく影響のある形態・意匠・色彩などの具体的な基準は設けられていない。このため自主条例に基づき指導・助言を行っているが法による裏付けがないことからこの指導・助言にも限界があった。このことから建築物や工作物と一体となった小樽らしい景観誘導を図るため、屋外広告物についてその形態・意匠・色彩などの具体的な基準を示すデザインコードを作成する。</p> <p>○小樽歴史景観区域内でも特に重要な近代化産業遺産である旧国鉄手宮線沿線の一部には、老朽家屋など景観を阻害している区域がある。この区域については民間活力を活用し旧国鉄手宮線と一体となった歴史性を醸し出す空間整備の誘導を行い、小樽らしい景観誘導を図ることが必要なことから空間整備のあり方を検討する。</p>
実施内容	<p><b>屋外広告物などに関する実態調査</b></p> <p>① 旧国鉄手宮線沿線での景観阻害区域や主要な道路沿いにおける屋外広告物の表示または掲出する物件の設置の状況を調査した。</p> <p><b>旧国鉄手宮線沿線の景観形成に関する社会実験</b></p> <p>② 新旧が調和した小樽らしいまち並みを創造するため、旧国鉄手宮線沿線で景観を阻害している区域を対象として建築物のCGIによるシミュレーションを作成し、小樽観光協会や民間団体等と連携して旧国鉄手宮線と一体となった空間整備の検討を行った。</p> <p><b>屋外広告物のデザインコードの作成</b></p> <p>・実態調査の結果に基づき屋外広告物の表示または掲出する物件の傾向を整理した。</p> <p>③ 屋外広告物の実態を評価し、他都市の事例を踏まえ、課題を抽出・整理した。</p> <p>・景観計画における『良好な景観の形成に関する方針』を実現するための屋外広告物の規制誘導のあり方などを検討した。</p> <p>・『小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観審議会』における『屋外広告物の規制誘導内容』の審議を経て、屋外広告物のデザインコードを作成した。</p>
取組の成果	<p>○屋外広告物の具体的な形態・意匠・色彩などのデザインコードを設けたことにより建築物や工作物と一体となった小樽らしい景観誘導について分かりやすい指導・助言が可能となった。</p> <p>○旧国鉄手宮線沿線における景観阻害区域の景観誘導に関して、CGシミュレーションを作成したことにより民間事業者に対して旧国鉄手宮線と一体となった空間整備の誘導が可能となった。</p>
今後の課題	<p>○屋外広告物にあっては、具体的なデザインコードを設けたがコーポレートカラーなどの取り扱いについては、明確な考え方を示すことが難しく課題として残った。</p> <p>○旧国鉄手宮線沿線の土地・建物所有者の権利関係が相続などにより複雑化しており、この整理が大きな課題である。</p>
今後の展開	<p>○屋外広告物のデザインコードを基に「(仮称)小樽市屋外広告物条例」を施行し、建築物や工作物と一体となった小樽らしい景観誘導を図り良好な景観の保全に努めるとともに、実務を通して課題となっているコーポレートカラーの考え方を整理する。</p> <p>○民間事業者にシミュレーションを示すことにより、民間による空間整備を誘導するとともに官民協働により土地・建物の権利関係の整理に取り組む。</p>

市町村名	北海道小樽市
部局／担当者名	建設部まちづくり推進課
連絡先	TEL : 0134-32-4111 (内線472)
リンク	—



屋外広告物の実態調査状況(高さ計測中)



旧国鉄手宮線沿線のCGシミュレーションなどによる検討状況